

令和5年度 社会資本整備における国の施策及び予算に関する提案・要望

我が国への4つの貢献

- ◆食料安全保障の強化
- ◆国土強靱化

- ◆2050年カーボンニュートラルの実現
- ◆観光立国の実現

持続可能な社会・経済の形成

北海道の道路ネットワークは未だ多くが未整備！

《高規格幹線道路の開通率》

67%

※北海道局調べ

物流や医療、観光を支えるインフラの強化が不可欠

- 高規格道路等ネットワークの整備促進
- 除排雪に係る財政支援の充実・強化
- 地域の特性に応じた魅力的なまちづくりの推進

防災・減災、国土強靱化

気候変動の影響は特に北海道で顕著！

《降雨量の変化倍率》

1.4倍

※4℃上昇の場合の降雨量変化倍率
※「気候変動を踏まえた治水計画のあり方 提言」(国土交通省 令和4年3月)

自然災害に屈しない強靱な国土づくりをより強力に推進

- 流域治水の推進
- 災害に強い国土幹線ネットワークの機能確保
- 災害に強いまちづくりの推進

インフラメンテナンス

待ったなしのインフラ老朽化対策！

《対策が必要な橋梁数》

約3,100橋

※道路メンテナンス年報(令和4年8月)

予防保全への本格転換を図り、計画的な老朽化対策を推進

- 老朽化対策予算の確実な確保
- 長寿命化や維持管理に係る制度の創設や財政支援の充実・強化

ゼロカーボン北海道の実現

2050年カーボンニュートラルの実現に貢献

《温室効果ガス排出量の削減目標》

2030年までに▲48%

※2013年を基準年度とした、2030年までの目標値
※北海道地球温暖化対策推進計画(第3次)

脱炭素社会の実現に向けたGXを推進

※GX：グリーントランスフォーメーション

- 住宅・建築物の脱炭素化の推進
- 環境負荷の少ない交通・物流基盤の構築
- 吸収源対策と気候変動の適応に関する取組の推進

「北海道Society5.0」の実現

建設産業の高齢化が進行しており、将来的な担い手不足が懸念

《建設業就業者の50歳以上の割合》

55%

※総務省 労働力調査より作成

DXや技術開発、働き方改革等を推進

※DX：デジタルトランスフォーメーション

- 建設現場における新技術の活用による生産性の向上
- 道路除雪における技術開発の推進
- 施設管理や災害時におけるデジタル化の推進

○「5か年加速化対策」予算の十分な確保と、「5か年加速化対策」後も、継続的・安定的に国土強靱化の取組を進めていくこと



持続可能な社会・経済の形成

●高規格道路網の整備促進

凡例
 高規格道路
 供用中 (青線)
 事業中 (赤線)
 未着手 (ピンク線)
 ミッシングリンク箇所 (ピンク)
 4車線化優先整備区間 (緑)

●高規格幹線道路の開通率

【北海道】
 開通延長 約1,200km (約67%開通)
 未開通延長 約600km (※令和4年3月31日現在)

【全国(北海道除き)】
 開通延長 約10,800km (約89%開通)
 未開通延長 約1,400km (※令和4年1月1日現在)

防災・減災、国土強靱化

●流域治水の推進

■河川改修

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト
 河川改修(道施工)
 河川改修区間における浸水被害状況(R2.11)

雨竜第2ダムのかさ上げ(直轄施工)
 かさ上げイメージ

■ダムの再生

十勝川水系流域治水プロジェクト

かさ上げ 再開後
 洪水調節機能の増強 (+1,600千m³)
 有効貯水容量 9,600千m³

雨竜川(幌加内町) 佐幌ダム(新得町)

●災害に強いまちづくりの推進

■高潮・浸食・津波対策施設などの海岸保全施設整備

度抗崎海岸(森町) 施工予定箇所

■市街地における地区レベルの避難路・避難施設等の整備

公民館を避難施設へ活用(耐震改修、非常用電源対策等)
 公民館(安平町)

インフラメンテナンス

●橋梁などの計画的な老朽化対策の推進

■橋梁

施工状況

床版コンクリートの剥離

増毛稲田線(妹背牛橋)(深川市、妹背牛町)

■橋梁

市道鷹泊三合沢線(三合沢線橋)(深川市)

■樋門

樋門の腐食
 頓別川(浜頓別町)

ゼロカーボン北海道の実現

●北海道の温室効果ガス排出量の削減目標

北海道地球温暖化対策推進計画(第3次改訂版より)

48%削減 (3,581万t-CO2削減)
 2030まで(長期目標)

●ゼロカーボン試行工事の推進

現場事務所へのソーラーパネルの設置

機関名	件数(発注倍)
北海道	738(9月末時点)
開発局	1,011(9月末時点)
札幌市	312(7月末時点)
合計	2,061件

受注者が「e-Procure北海道」に資する取組を工事現場で実施した場合、「工事施工実績評価」で加点評価する。

●ブルーカーボンの拡大

虎杖浜海岸(白老町)
 白老町市街

離岸堤整備

水産協調整ブロック(満付きブロック)

海藻類のCO2貯留効果は森林の2.4倍!(釧路港外防波堤における北海道開発局調べ) 当施設の整備により約17,000m2の藻場創出を目指す ※約41,000m2程度の森林に相当!

●公営住宅の脱炭素化の推進

ZEH水準を満たす断熱性能・省エネ性能を採用

- 太陽光発電設備の設置
- 外断熱工法の採用及び断熱強化
- 高効率暖房給湯設備の採用

「北海道Society5.0」の実現

●建設業就業者の50歳以上の構成比

【出典：総務省 労働力調査より作成】

●施設管理や災害時におけるデジタル化の推進

災害概要の作成 (アプリ/タブレット・スマートフォン)
 災害報告書の作成 (パソコン)
 災害情報の共有 (サーバー)

崩壊地上流の湛水状況
 R3.4撮影
 ドローンによる被災箇所の撮影

●道路除雪におけるデジタル化の推進

前方検知エリア
 障害物位置

積雪前の障害物の状況を確認しながら除雪作業が可能